

「おどる」に属する施策の事前評価・意見

基本政策：まちがおどる

No.	施策名	評価	意見
7-1	都市ブランドの創出	B	重点事業は一部達成できていないものも有るが、おおむね達成できており、成果指標への達成にもつながると考え、評価をBとした。 「水都・とくしま魅力発信事業」にて成果として挙げられた徳島市シティプロモーションサイトのデザインはとても見やすく、興味を持ちやすい。取組内容も素晴らしく、今後も引き続き事業の充実を目指して欲しい。
		B	各重点事業の達成状況にバラつきがあるためBとした。 今後の方向性を「見直し」としている項目もあることから、改善が求められる。
		B	1つ1つの事業は魅力があるものであるが、市のシンボルとなるには発信、継続性がもっと必要。
7-2	計画的な都市づくりの推進	B	重点事業の目標はおおむね達成できているが、成果指標は上昇していないものがあるため評価をBとした。 事業内容に問題はないと考える。特に「地域公共交通の活性化」はぜひ事業の充実を目指してほしい。
		B	成果指標が悪化している項目があることからBとした。 新町西地区の再生やにぎわいづくりについては、特に関心が高いと思われることから、適宜情報公開をお願いしたい。
		B	この項目は時間のかかる事業が多いので、より具体的な行動計画を立てて取り組んでいただきたい。
7-3	観光・交流の促進	A	重点事業の目標が達成できており、成果指標の達成に繋がったと考えられるため、評価をAとした。 どの事業も取組内容は素晴らしく、今後も引き続き事業の充実を目指して欲しい。 ただ、「眉山山頂の魅力アップ」事業については、マチ★アソビ時では特典と声優による乗車アナウンスがあるのみで、現在はモラエス館も閉館しており、山頂において関連の展示物もなかったためイベント時での特別展示を設けるなどの特典を設けて欲しい。 眉山において行われるイベントの中で、我々若者にとってなじみ深いものはマチ★アソビとのコラボレーション企画であろう。マチ★アソビ時においては乗車アナウンスがアニメやゲームなどの声優によって行われており、魅力は高い。以前は山頂でイベントを行っており、楽しませていただいた。しかし、前回のマチ★アソビではそのアナウンスがあるのみで、山頂では現在はモラエス館も閉館しており、山頂においてイベント関連の展示物もロープウェイ乗り場付近のポスター展示しかなかった記憶があり、観光客には少し物足りないという面があるのではと感じた。アナウンス、特典配布以外に眉山山頂でのイベントに関連した企画展示の一考も有効ではないだろうか。 また、現在風鈴の展示を行っているとのことであるが、WEBサイトの他でその広報を行っているSNSのフォロワーは多くはなく、少なくともSNSを利用している市民がその企画を目にする機会は少ないのではないだろうかと考えた。魅力的な企画を行いSNSで広報しているにも関わらず、市民の目に触れる機会が少ないのは惜しいことであるため、SNSの利用に関する一考も有効であると考えます。 閉館したモラエス館の資料の出張展示についてだが、現在出張展示されている中央公民館はアミコビルと徳島大学の2カ所で分断して展示していた資料をまとめて1カ所で閲覧することは出来るようになったが、駅前から少し離れており、特に高齢者にとっては便が悪い一面もある。眉山山頂の利用促進にもつながるように、阿波踊り会館のすぐ近くにモラエスの墓があるため、阿波踊り会館の中に展示をするというのはどうだろうか。

No.	施策名	評価	意見
7-3	観光・交流の促進	A	順調に進んでいるため、Aとした。 しかし、DMOは立ち上がったばかりであり、今後の取り組み次第であるため、期待している。コンベンションの誘致は年によりバラつきがあるため、できるだけコンスタントになることが事業者のためになると考える。
		A	阿波おどり会館の利用が市内観光の核になっている中でより一層の充実に努めてほしい。
7-4	文化財の保存と活用	A	重点事業の目標は概ね達成できており、成果指標の達成に繋がったと考えられるため、評価をAとした。 特に、「三河家住宅の保存と活用事業」の取組内容は素晴らしく、期待できる。ぜひ事業の充実を目指し、引き続き取り組んでほしい。保存修理工事が修了し三河家住宅を活用するようになれば、例えばハンドメイド作品の販売イベントや、カフェ、そしてホテルなどに活用できれば観光客の集客も望め、なおかつ一若者としては、市民が三河家住宅に対して関心を持つ機会は増えるのではないだろうかと考える。三河家住宅は徳島市の何物にも代えがたい貴重な文化財であることもあるため、保全が第一に考えられるべきであるが、そのような活用の一考もある程度の価値はあるのではないだろうか。 「蜂須賀家藩主蜂須賀家墓所の保存と活用」について、地域住民との連携協力のほかに、例えば文化財などに携わる機会のある科目をもつ大学との連携は学生と文化財のふれあいの機会につながると考えられ、若者の地元の文化財の認識にもつながるため、一考の価値はあると考える。
		B	取り組み状況に動きがみられるためBとした。 今後の活用方法をわかりやすく示してほしい。
		C	市の文化財に関しては、市民も知らないことが多い。予算の割に目標達成度が低い。
7-5	やさしい都市空間の整備	A	成果指標は概ね上昇しており、重点事業も順調に進んでいると考え、評価をAとした。 パークアドプト事業と花と緑のまちづくり事業への参加団体数は減少しており、事業の課題においても述べられているとおり、団体の存続が課題であろう。若年層の新規団体の参入もめざし、引き続き取り組んで欲しい。
		A	各重点事業が順調であり、成果指標もおおむね良好であることからAとした。 しかし課題も挙げられていることから、対策をしっかりとっていくことが求められる。
		B	市中心エリアの緑化は、市民も一体となって進めていくべき事業だと思う。学校など若い人の参加の機会を促してほしい。動物園は成果が出ている。

基本政策：夢がおどる

No.	施策名	評価	意見
8-1	農林水産物の振興	A	少ない予算の中で一定の効果が出ている。重点課題をもっとしぼってさらに取り組んでほしい。
		B	各重点事業は概ね目標達成できており、評価指数は減少しているものも有るが、ほぼ上昇しているため評価をBとした。
		B	達成状況にバラつきがあるためBとした。 進捗状況が思わしくない項目は、十分改善策を練る必要がある。県との協調も検討してはどうだろうか。たとえば、「とくしま食材ブランド化推進事業」について、県と協調した方がPR力が高まるように思う。
8-2	地域産業の振興	A	各重点事業が順調に進んでおり、未計測のものは有るものの、成果指標に繋がったと考え評価をAとした。
		A	重点事業が順調に進んでいることからAとした。 目標値達成後も各事業者などのフォローなどに努めていただきたい。
		B	地域資源のうち、藍を中心にしたブランド創りは、トレンドとも合っておりもっと進めてほしい。もっと事業の発信をするべき。
8-3	商業・サービス業の振興	B	ほとんどの重点事業について目標を達成できておらず、未計測のものもあるものの、一部のものは成果指標も悪化しているため、評価をBとした。 事業の設定には問題がないと考えるが、点検が一度必要ではないだろうか。
		C	目に見える形での成果が見えてこない。特に中心市街地での空き店舗は増加している。
		C	全体的に進捗状況が停滞しているように感じられたためCとした。 各重点事業の取り組みの前に中心市街地をどうしていくか、あるべき姿といったビジョンを掲げる必要があると思う。
8-4	働く環境づくりの推進	B	重点事業の目標値も概ね達成できており、また、進捗状況がCとなっている事業については、年度の後半からの事業であることも考慮し、評価をBとした。 特にファミリーサポート事業は取組内容も素晴らしく、成果も出ている。病児・病後児預かりサポートの実施に向けて、今後も引き続き事業の充実を目指して欲しい。
		B	ファミリーサポートセンターの事業は一定の成果が出ているが就職支援に関しては予算に対してあまりにも実績が低い。
		B	達成状況にバラつきがあるためBとした。 進捗状況が良い項目に関しては、もう一步踏み込んだ内容での事業の継続に努めてほしい。

基本政策：ひとがおどる

No.	施策名	評価	意見
9-1	文化・芸術活動の振興	B	成果指標は上昇しているが、重点事業については事業目標数が減少しているものも有り、評価をBとした。 重点事業の設定には問題はない。文化芸術の出会い創造事業は地域に根ざしたアーティストの存在の周知、芸術の発展にもつながるものであるため、事業の充実を目指して欲しい。
		B	この項目もすぐに成果が出るものではなく、目標に沿ったより具体的な行動計画やタイムスケジュールを作っていただきたい。
		B	成果指標の状況がおおむね順調に推移しているためBとした。 新ホールについては市民の関心が高いので、取り組み内容の開示が必要ではないかと思われる。
9-2	スポーツ・レクリエーション活動の振興	A	市民に親しめるスポーツの振興には一定の成果が出ている。
		B	一部の事業の目標が達成できておらず、成果指標も一部減少しているため、評価をBとした。
		C	成果指標や重点事業の達成状況によりCとした。 市立体育館の整備について、十分に検討し、納得度の高い内容になるよう努めてほしい。
9-3	生涯学習の推進	A	身近な所での講座の開設は広報などを目にする機会も多い。まだまだ伸びしろがある。
		B	参加人数が減少しているものも有るが、各重点事業において順調に進んでおり、おおむねの事業は成果指標の達成につながっていると判断し、評価をBとした。 地域学遊塾事業は参加人数が300人ほど減少しているということであったので、新規の参加者の獲得をめざすなどして、事業の充実を目指して欲しい。
		B	各重点事業の達成にバラつきがあるためBとした。 参加者・利用者のニーズを満たすよう、今後も内容を見直すなど、必要に応じて対応してほしい。
9-4	地域自治・協働の推進	A	各事業が順調に進んでおり、成果指標も上昇しているため評価をAとした。
		B	現在の活動は一定の成果が出ているが、新しい団体や視点がもっと必要である。
		B	成果が見えにくい事業もあるためBとした。 幅広い層が活用できる施設運営が求められる。